

海外短信



～アメリカ～

The Amishの生活

～ 西川ゴム工業㈱ ～



コーン畑の中を疾走する The Amish の馬車

NISCO(Nishikawa Cooper LLC)は、西川ゴム工業㈱の米国子会社で、Topeka と Bremen という二つの町を製造拠点として、自動車用ウェザーストリップの製造販売を行っています。この二つの町は米国インディアナ州の北部に位置し、インディアナ州名産のスイートコーンの畑をはじめ、大自然に囲まれた環境で仕事をしています。

高速道路から下りてきて、このインディアナ州北部の町に入ると、まず目にするのは、大自然の中をさっそうと走る馬車の姿です。馬車は一般の自動車に交わりながらも、極めてゆったりとしたスピードで往来しています。この馬車を利用しているのは、The Amish (アーミッシュ) の人たちで、彼らはインディアナ州の他に、ペンシルバニア州とオハイオ州に多く、「北米には約 20 万人の The Amish がいる。」といわれています。

The Amish とは、1693 年に Jacob Ammann 氏によってはじめられたドイツ系移民を先祖とするキリスト教の一派で、現代文明とは異なる独自の生活様式と文化を維持しています。彼らの独自性について、少し紹介しますと

- 主な移動手段は馬車と自転車で、自動車やバイクは使わない。
- エアコンや冷蔵庫などの電気機器類を使わない（携帯電話も持たない）。
- 衣食住の基本は自給自足（衣類も自前）。
- 写真に写ることは許されない。
- 男性は既婚後ヒゲを剃ってはいけない。

● 女性はキルトをつくって生活の糧をえる。

● ドイツ語で会話する。

という具合で、近代文明の要素は全て排除した状態で生活をしています。



The Amish の自転車（仰向けに寝て走る）

この取材をするまでは、こうした生活をする理由は、「質素に簡素に、自然の生態系と調和しながら生きることが、人類の本来の生きかた。」と信じるからであろうと思っていました。

「こうした生活を続けているのはなぜ？」と率直に The Amish の人に問い合わせたところ、「質素に生きるというのも一つの理由だけど、命のある限り、できるだけ家族や友人と近しく暮らし、離れ離れにならないことが人生では最も幸せなことだと信じているから。」という回答が返ってきました。彼のこの言葉は、近い人々を日本に残して離れて赴任生活を送る身には、忘れかけていた大切なものを思い出させてくれました。この寄稿の機会を頂戴して本当によかったと、今も思っています。

最後に、この取材に快く協力してくれた弊社従業員である The Amish の Steve Jones に感謝の意を表して、インディアナ北部の短信を終わります。



The Amish の家庭の室内（画面奥のチェック柄の織物がキルト）

